

古賀東

(こがひがし)

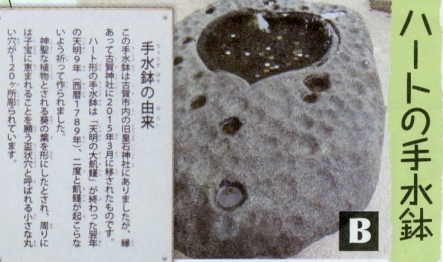
古賀PICK UP

市内で有名な神社、古賀神社を有する古賀東。
エリア内に市役所や慰霊塔を持つ。
今は蓋をかけられた市役所の前を流れる小川には、
以前はシジミやドジョウなどがたくさんいました。
洗濯や洗い物にも活用されていたこの川の周辺には、
目を閉じて耳を澄ますと、
元気に走り回る子どもの声や洗濯をしているお母さんの話し声、
昔ながらの生活がこの地にあったことを思い起こさせてくれる。



A 古賀神社

古賀3区の4神社(浦口、皇石、貴船、日吉)が合祀して出来た神社。
春は桜見、夏は獅子舞い、秋には放生会、冬は初詣と
1年を通じて多くの人々が集まる地域の拠り所。



B ハートの手水鉢

天明の大飢饉後の1789(天明9)年、
飢饉が二度と起こらないよう祈って作られた手
水鉢(ちょうずばち)。
菱の葉の形に模した水ためがハート型と見立て
られ、縁結びスポットとして注目を集めている。



C 粕屋北部
新四国千人参り
第4番霊場

中央に不動尊、向かって右側に大日如来。
向かって左側に弘法大師の千人参りの札所。



D 飯田地蔵

源平鎌倉時代に、隣の大根川が頻りに氾濫し、旅
行く人の行く手を邪魔していたことから、地藏尊
を奉ったといわれている。
扉の中の地藏尊が、川の中から見つかったといわ
れている。



E 庁舎敷地沿革碑

かつてここには旧貴船神社の神殿を中心に、舞
台があり、土俵があり、広場があり、
稔りの秋には、住民が総出て感謝の集いを繰り
広げ、また干魃、長雨等の災害に際しては、
敬虔な祈りをささげ、互いに一致協力してことに
当たってきた。
実にこの地は悠遠の昔から住民の幸せと繁栄
の原点であった。(一部抜粋)



F 慰霊塔

昭和33年、古賀神社から戦没者慰霊塔敷地とし
て寄贈された。
平成10年9月には平和の礎も建碑された。



G 放生会



9月28日、29日に行われる市内最大の放生会。
特に28日夕方に行われる御神幸(お下り)は、見
ごたえあり。
以前は、今の市役所があったところに舞台があ
った。今は境内の演舞場での出し物や子ども相
撲、剣道が行われている。

お祇園さま

7月の第2土曜日に行われる地域のお祭り。
子ども達による獅子舞いは、今も地域に根付い
ている。
訪問先に和紙で作った桜の花を渡している。

